

平成30年度教育学部プロジェクト推進支援事業

「附属学校改革専門委員会」第3期中期目標中期計画；平成30年度中間報告

「小学校の専科制のあり方について」

(経過報告)

附属学校改革専門委員会：田代高章（教育学部）・高室 敬（附属小学校）

1. 本研究の位置づけ

本研究は、岩手大学第三期中期目標の【16】「地域創生の観点に立ち、地域の教育諸課題を解決することのできる、地域の初等・中等教育機関教員を養成するための実習校としての機能を強化する」と、その下での中期計画の【32】「地域創生を担う初等中等教育機関の教員養成実習校として機能するため、教育学部及び教職大学院と連携・協力して実習カリキュラムを開発し導入する。これにあたっては、小規模・複式教育に資する教育実習カリキュラムの開発や教職大学院における実習カリキュラムの確立等を行う。」、および、中期目標の【17】「地域のモデル校としての附属学校の機能を強化し、先導的・実験的取組を通じた教育・研究を進め、地域の教育課題に応える。」と、その下での中期計画【34】「地域のモデル校として、多様な子どもたちを受け入れ、幼稚園、小学校、中学校という異校種間の接続教育及び一貫教育のあり方や小学校の専科制について調査研究を行う。そのうえで、附属学校の機能を強化するため学級数、入学定員の適正化を図り、教員の適正配置を計画し、実施する。」を実現するための、全学的な位置づけのもとでの研究である。

上記の中期目標・中期計画にしたがって、地域課題の解決にも貢献しうる地域のモデル校としての役割と、地域創生のための附属学校園の機能強化を目指した取り組みを学部と附属校園と共同で進めている。具体的には、①小規模・複式教育に資する教育実習カリキュラムの開発、②小学校の専科制のあり方について、③異校種間の接続教育及び一貫教育のあり方について、の三つの研究テーマに沿って、附属学校改革専門委員会を中心に、具体的な計画の実施に取り組んできた。

本論は、三つのうちの、②に関わる研究成果の経過報告を行うものである。

(以上、文責：田代高章)

2. 本研究の内容

(1) 取り組み状況

岩手大学教育学部附属小学校では、担任の教科専門性を生かすため、自分の学級以外のクラスに出向いて授業を行う取り組みを行っている。

「出入り」と呼んでいるこのスタイルの有効性や課題を明らかにし「附属小学校において教科を特定して専科教員を指定し、その教育的効果と運用上の課題を明らかにし、地域に情報を提供する。」ことを目的に、先進校の視察や教員の意見

の取りまとめを行ってきた。

(2) 先進校の視察

1) 宇都宮大学教育学部附属小学校(平成29年10月12日訪問)

宇都宮大学教育学部附属小学校は、各学年3クラスの18学級・講師2名・担任外6名が授業を行っている。

組織体制は、下図の通りであるが、週の担当授業は、個人差もあるが平均21時間で、空き時間も十分確保されている。

自分のクラスで授業を行う時数は10時間程度で、担当授業のおよそ半分は他のクラスで授業を行っていることになる。

図画工作科は、2時間続けてじっくり製作するイメージのある教科だが、宇都宮では1時間の授業が基本となっている。図工室に移動して、授業を受ける。次々と学級が入れ替わっても支障がないように、入れ物を準備して対応していた。

異学年の算数を受け持っている教員が、連続して違う学年の算数の授業を行っている様子を視察した。日常のことなので、慌てた様子もなく授業を進めていた。

授業と授業の間が10分間あり、この間に教室を移動したり、指導者が入れ替わったりする。午前中は1~4校時を連続して行う。その後給食・休み時間となる。2校時と3校時の間には、長い休み時間は設定されていない。

教員別授業時数・担当教員一覧(宇都宮大学教育学部附属小): 当日配布資料より

全体数	1年			2年			3年			4年			5年			6年			計	備考	備考	備考	備考	備考	備考										
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3																	
1-1 小島																				1	1			13	8	21	1-1								
1-2 山竹																				1	1			11	11	22	1-2								
1-3 志保																				1	1			15	6	21	1-3								
2-1 大田																				1	1			12	9	21	2-1								
2-2 佐藤																				1	1			13	9	22	2-2								
2-3 北川																				1	1			12	9	21	2-3								
3-1 塩																				1	1	2	1	12	2/3	8	1/3	21	3-1						
3-2 浅井																				1	1	2	1	11	10	21	3-2								
3-3 山口																				1	1	2	1	12	2/3	8	1/3	21	3-3						
4-1 高橋																				1	1	2	1	11	2/3	9	1/3	21	4-1						
4-2 高橋																				1	1	2	1	15	6	21	4-2								
4-3 大塚																				1	1	2	1	11	2/3	8	1/3	20	4-3						
5-1 鈴木																				1	1	2	2	15	5	1/3	20	5-1							
5-2 佐藤																				1	1	2	2	13	2/3	7	20	5-2							
5-3 高橋																				1	1	2	2	11	2/3	9	20	5-3							
6-1 山口																				1	1	2	2	9	2/3	11	1/3	21	6-1						
6-2 高橋																				1	1	2	2	11	10	21	6-2								
6-3 山																				1	1	2	2	11	1/3	8	2/3	20	6-3						
講師 宇野																												20	2/3	20	2/3	講師 2.1			
講師 小島																												21		21	講師 2.1				
教員 乙																												19		19	教員 1.9				
教員 田																												16	1/3	16	1/3	教員 1.9			
教員 山																												12		12	教員 1.2				
教員 川																												17		17	教員 1.7				
教員 山																												2		10	10	教員 1.9			
教員 山																												5		5	教員 1.5				
合計	109			109			109			109			109			109			109			109			109			109			109			500	(単位)

2) 弘前大学教育学部附属小学校(平成29年11月29日訪問)

弘前大学教育学部附属小では、教科担任制が本校より進んでいる。下図のような体制で取り組まれているが、3年生以上の学年に1名の加配教員が置かれている。

このため、高学年では、一週間で自分のクラスで授業をする時間を15時間程度にして、残りの時間を空き時間と他クラスでの専門性を生かした授業を行う時間に当てている。この取り組みによる大きなメリットについて、

① 研究のため

- 一人の教員が複数のクラスで教科指導できることは、教科研究を進める上でとても有効である

② 生徒指導のため

- 児童を複数の指導者が見ることで多面的な児童理解が可能であり、生徒指導の面からも有効である。

③ 中学校への接続

- スムーズである。

という説明を受けた。

個々の教員がもつ能力を、学校全体に広め生かすことで、子供にとって意味

教員別授業時数
担当教員一覧(弘前大学教育学部附属小): 当日配布資料より

No	担任	教科	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	合計
1	副校長 大塚 公平	理科																															
2	教員	言語																															
3	主任教員	英語																															
4	教員	英語																															
5	主任	英語																															
6	1年1組	下山 麻子	国語																														
7	1年2組	工藤 真由香	国語																														
8	1年3組	橋本 真由香	国語																														
9	1年4組	本村 麻美	国語																														
10	2年1組	藤田 千比	国語																														
11	2年2組	長尾 志輝	国語																														
12	2年3組	外崎 亜由	国語																														
13	3年1組	堀内 潤子	外国語																														
14	3年2組	工藤 真由香	算数																														
15	3年3組	秋田 真由香	理科																														
16	3年4組	下山 麻子	英語																														
17	3年4組	今 伸仁	社会																														
18	4年1組	菅原 雄貴	理科																														
19	4年2組	尾崎 雄仁	算数																														
20	4年3組	宮崎 麻理	外国語																														
21	4年4組	小林 雅人	社会																														
22	5年1組	外崎 亜由	家庭																														
23	5年2組	菊池 和孝	体育																														
24	5年3組	菅原 雄一	音楽																														
25	5年4組	山下 真由香	外国語																														
26	5年4組	北村 沙織	家庭																														
27	5年1組	山下 真由香	音楽																														
28	5年2組	神田 真由香	音楽																														
29	5年3組	坂本 麻理	国語																														
30	5年4組	北村 沙織	理科																														
31																																	
32																																	
33																																	
34																																	
35																																	

のあるものになることは本校と同様である。しかし、各学年に1名の加配があるという恵まれた環境だからこそ実現する組み方であることも分かった。

(3) 平成30年度の岩手大学教育学部附属小学校での取り組み

本校では、これまでの取り組みを生かしながら、平成30年度においては、下図のような「出入り」のもとに、実質的な専科制を行ってきている。

岩手大学教育学部附属小学校の「H30 出入り」一覧表

平成30年度 基本時割 1/29~ 1・2年の「わ」は、体育のためのわかたけホール 上段=Aプログラム 下段=Bプログラム

学年	時間	月					火						水						木					金						
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	
1年	つばめ																													
	ひばり		わ								わ																		体	
	はと					わ																								体
2年	ふじ		体								口音																			口音
	ゆり		口音		※算					※生	体	口算																※算	※算	※生
	きく									わ	★生	口音																口音	★生	わ
3年	つばき					体																								体
	つばき					体																								体
	ばら					口音																								口音
4年	ほし		口音		△音	理																								理
	つき																													理
	にじ																													理
5年	まつ																													理
	たけ																													理
	うめ																													理
6年	しらかば																													理
	いちよう																													理
	かえで																													理

△板垣 ★高室 □山本 ◊橋本 ◎貴田 ▲小川 ○伊藤 ◎井上 ☆関戸 ●阿部 ●益産 ◇伊藤 藤市川 ※工産
▽金子 ▲谷産 ◊渡辺 ◎大妻 ○佐藤 ▲小田 ◊坂本 ◎菅原 ☆伊東 松村

本校の教員が「出入り」の取り組みに対して感じていることは、以下に示す3つの意見のように、プラス面の受け止めが多い。

○とても良いと思う。附属だからこそ、子供たちへの専門的指導として、効果を発揮することができる。公立学校にも、実践例として発信できる。

○社会科、家庭科、音楽科など、先生方の専門性を生かした授業を設定していたことにより、子供たちの学習がより充実したと思う。

教員別授業時数・担当教員一覧(岩手大学教育学部附属小)

学年	組	担任名	担任以外が入る教科							他の学級へ出る教科			担任以外 出る時数	授業時数	空き時数			
			生活	国語	算数	理科	社会	家庭	音楽	体育	生活	国語				社会		
1年	つばめ	川村晃博											0.0	0.0	25.0	0.0		
		(伊藤純)												0.0	0.0	25.0	0.0	
	ひばり	榎木航平											0.0	0.0	25.0	0.0		
		(伊藤純)											0.0	0.0	25.0	0.0		
はと	菊地美香子											0.0	0.0	25.0	0.0			
	佐藤直											0.0	0.0	25.0	0.0			
1・2年複式	ちどり	小川純美	生活(橋場):3.0	国語(橋場):2.0						音楽:3.0			5.0	3.0	25.0	2.0		
2年	ふじ	松村敏	音楽(伊藤純):2.0	学活(市川):1.0						体育:3.0			3.0	3.0	27.0	0.0		
		橋場美和	音楽(伊藤純):2.0	国語(工藤・山本):5.0	書写(市川):1.0	体育(松村):3.0	生活(工藤):3.0	生活:3.0	国語:2.0	社会:5.0	14.0	10.0	23.0	4.0				
	まき	市川あゆみ	音楽(伊藤純):2.0	生活(高宮):3.0						理科:3.0	書写:1.0		5.0	4.0	26.0	1.0		
3年	つつじ	金子裕輔	音楽(伊藤純):1.5	道徳(谷藤):1.0						国語:1.5			2.5	1.5	26.0	1.0		
		谷藤光明	音楽(伊藤純):1.5	国語(金子):1.5						道徳:1.0			3.0	1.0	25.0	2.0		
	ばら	遠藤真央	音楽(伊藤純):1.5	社会(橋場):2.0						家庭:1.5			3.5	1.5	25.0	2.0		
3・4年複式	すずらん	黄川田健	音楽(伊藤純):1.5	国語(佐々木信):7.0	社会(阿部):2.5					理科:6.0			11.0	6.0	23.0	5.0		
4年	ほし	阿部智央	音楽(小川):1.5	国語(大森):7.0	板垣(道徳):1.0					社会:5.0			9.5	5.0	23.5	4.5		
		渡辺清子	音楽(伊藤純):1.5	社会(板垣):2.5	理科(市川):3.0					体育:3.0			7.0	3.0	24.0	4.0		
	にじ	大森有希子	音楽(伊藤純):1.5	算数(山本):5.0	社会(阿部):2.5	体育(渡辺):3.0				国語:7.0			12.0	7.0	23.0	5.0		
5年	まつ	佐藤真	音楽(井上):1.5	理科(黄川田):3.0	家庭(伊藤純):1.5	社会(橋場):3.0	国語(小田):1.0	算数:5.0					10.0	5.0	23.0	5.0		
		小田誠	音楽(井上):1.5	道徳(板垣):1.0	家庭(伊藤純):1.5				国語:1.0					4.0	1.0	25.0	3.0	
	うめ	伊藤雅子	音楽(井上):1.5	算数(佐藤真):5.0					家庭:3.0					6.5	3.0	24.5	3.5	
5・6年複式	かつら	佐々木信幸	音楽(井上):1.5	理科(黄川田):3.0	家庭(工藤):1.5	算数(山本):5.0			国語:7.0				11.0	7.0	24.0	4.0		
6年	しらかば	菅原純也	音楽(小川):1.5	理科(高宮):3.0	家庭(遠藤真):1.5	板垣(道徳):1.0	社会(関戸):3.0	体育:5.0					10.0	5.0	23.0	5.0		
		関戸裕	音楽(井上):1.5	算数(伊東):5.0	家庭(工藤):1.5	体育(菅原):2.5			社会:6.0					10.5	6.0	23.5	4.5	
	かえで	伊東晃	音楽(井上):1.5	理科(高宮):3.0	体育(菅原):2.5	社会(関戸):3.0			算数:5.0					10.0	5.0	23.0	5.0	
専科		伊藤純	ふじ・ゆり・まき・つつじ・つばき・ばら・すずらん・つき・にじ						音楽:15.0					15.0	15.0			
		井上美枝子	まつ・たけ・うめ・かつら・しらかば・いちよう・かえで						音楽:9.0						9.0	9.0		
		工藤あい子	かつら・いちよう・ゆり						家庭:3.0	算数:4.0	生活:3.0				10.0	10.0		
担任外		板垣健	しらかば・たけ・ほし・つき						社会:3.0	道徳:3.0				6.0	6.0			
		高宮敬	しらかば・かえで・まき						理科:6.0	生活:3.0				9.0	9.0			
		山本一貴	にじ・かつら・うめ・ゆり						算数:11.0	書写:1.0				12.0	12.0			
		橋場美和	ばら・ちどり						社会:5.0	生活:3.0	国語:2.0			10.0	10.0			

(4) 成果と課題

宇都宮大学教育学部附属小の実態は、専科制が教科研究に適している一面を最大限に生かしているといえる。教科研究を深めることを大きな柱として導入する必要があるし、それが本筋だと感じる。

それに対して、弘前大学教育学部附属小の実態は、各学年に担任外の専科教員を配置することで成り立つ。このような人員配置ができれば、本校でもすぐにも取り入れたいスタイルである。

その際、どのようなねらいをもって導入するのかをはっきりしておく必要がある。

- ② 配置されている教員の専門性を、学校全体に活かすため。
- ② 自分の学級以外で授業経験を積むことにより、教員の専門性（力量）を高めるため。

公立学校に提示する際には、このようなねらいのもとで、本校のスタイルは十分手本として参考になるものと感じている。

来年度は、「出入り」の時数を今年度と変えて実施し、教員の意見を集約し、「出入り」の効果についてまとめていきたいと考えている。

（以上、文責：高室 敬）